

さて、橋は脳幹に含まれる脳の部位の一つで…じゃなくて、今日は今年の仕事納めです。

しかしながらこのオシゴトの性質上、完全休業とはいかないのが辛いところです。今でこそ大晦日、元旦すらスーパーが営業している時代なので、なんら困らないのですが、かつて最低気温の記録が-41℃という町の病院に勤務していた頃は、町に1店舗しかないコンビニ以外に食料の調達手段がないにも関わらず、2-3日病院に缶詰になると、車の発掘をしてからでないと弁当も買いに行けず、結果看護師の皆さんに食料をたかる日々でした。

ソナ環境でしたので、看護師さんと結婚して次の任地へと去って行く研修医が多く、着任にあたっての院長からの訓示は「医者は代わりを調達できるが、看護師の調達は困難なので、掠っていくことは許しません！」でした。ちなみに私は違いますが、私の後任のS木先生はまさしくだったので、在職中は秘密だったそうです。



さて、神経内科の仕事納めは皆さまご存じのスイーツ好きの60代大学教授がケーキを一気食いするのを医局員が直立不動で見守るというのが通例で、教授はケーキを目の前になると満面の笑みです。調達係はS川先生でした。

と書いたところで大阪の宇川様からのお電話です。「ケーキを一気食いしていることがばれると妻や娘に叱られるから、医局員みんなで切り分けて食べたということにならないか」との仰せです。ということなので、奥さま！このケーキは医局医一同でおいしくいただきました。また、忘年会にお持ちいただいたワインも主にS裏教授がおいしくいただきました。ありがとうございます。

そう、年末と言えば忘年会ですが、神経内科学講座も去る12月22日には穴原温泉にて忘年会が開催されました。その際の写真は倫理規定的問題から割愛いたしますが、足を引っ張る酔っ払いのM上君や井G君にもめげない健気な幹事のY田君の尽力により、楽しい一時が過ごせました。吉D君がいなくなったら私辞めてしまいます！

翌日の早朝に朝風呂に入って、部屋に戻ってみたら、宴会場から自室にたどり着けなかった影の医局長で朝型のK林君のスマホから盛大な目覚ましアラームのメロディーが流れていました。あらあらみんな風呂に行っちゃたのかなあと思ったら、残りのメンバーは大音量の中、ピクリとも動かず爆睡していました。

来年度は宇川神経内科の総決算の年ということで、宇川教授が大会長を務める第58回日本神経学会学術大会が京都市でWCN2017と共催という形で開催されます。準備のため今まで以上に宇川教授は福島どころか日本滞在時間が短縮されるのではと危ぶまれるところではありますが、基本的に責任取るのが教授のオシゴトなので、Arizonaにいようが、台北にいようが、Barcelonaにいようが責任はとれるので無問題です。

<https://www.neurology-jp.org/neuro2017/index.html>

医局日誌 201701

皆様、akomktyr! さて、2017年もあっという間に松の内も過ぎました。我が家は今年も寝正月でした。そうそう、わたくし、前回の大晦日は当直だったので、おせちの受取が困難であきらめておりました。しかし、なんと病院内ローソンでは予約なしでもおせちが購入できます!ということを発見し、プレミアムおせち三段重を購入して翌朝家に帰って食べました。これがなかなかよかったので、今年も大晦日に病院内ローソンのをぞいたところ、ありましたプレミアムおせち三段重。とういことで我が家のおせちは二年連続ローソンおせちでした。

<http://www.lawson.co.jp/recommend/osechi2017/>

まあ、普通にローソン受取で予約しておけば良いという事なんですけどね...

さて、今年はいろいろ変化があります。神経内科外来もきぼう棟内で場所を移動し、脳疾患センターとして脳神経外科、心身医療科とともにリニューアルオープンです。

医局日誌 201701-2

さて、一月に入ってから、当直日誌の更新が途絶え、「ああ、やはり奴はやり過ぎたんだなあ。宇川は噂通りの人物だった。何処に行ったかググってみよう。」と一部でささやかれていましたが、単に当直がなかっただけでした。しかし我が世の春も2ヶ月でお仕舞いです。「当直させなければ当直日誌に書かれないと思っていたのに、医局日誌が書かれるのでは意味が無いだろう!」との60代大学教授の上意があり、来月から当直日誌が再開されます。「もう止めて」って言われるかも知れませんが、「もう辞めて」って言われない程度に寸止めしつつ、うpしようと思いますので乞ご期待です。

そんなことはどうでも良いのですが、**4月から新たな2人の医局員を迎えることが決まりました。**これも「入局しても一年間だけ我慢すると、60代大学教授の支配からの卒業がかないます!」と言う希望的観測をアピールして、同門会の皆様の強力なバックアップのもと、採用活動を繰り広げた御陰と思います。採用活動を取り仕切っていた大きい方のE本先生ご苦労様でした。

新人は2人とも神経内科医を目指すにふさわしい甲乙付けがたい優秀な人材なので、仮に一年間では卒業できなくても退学せずに耐えられると思います。うっかり20年間も我慢し続けてしつづけている私がいうのですから間違い有りません(・ω<)。

そうそう、宇川様からの2016年の着信回数は忘年会での報告から2回増えて、580回でした。切りの良いところを狙ってきたのでしょうか?まあ、切りが良いといって22回増えて600回とか422回増えて1000回とかにならなくて本当に良かったと思います。そんな着信も2017年に入ってから、なんとまだ8回のみです。彼は還暦を過ぎても成長し続けているようです。いや成長しつづけて欲しいです!

それでは、来月またお会いしましょう。